

元気で躍進 地域経済

MMM

鈴鹿医科大などと産学連携

インターンシップや共同研究

松阪市内の医療機器メーカー6社でつくる松阪メディカルメンバーズ(MMM、橋本耕成リーダー)と鈴鹿医療科学大学(鈴鹿市、高木純一理事長)、三十三地域創生事(松阪市京町、熱田渉代表取締役社長)が17日、産学連携に関する包括協定を結んだ。午後1時から鈴鹿市の同大学ロイヤルパスで調印式があり、橋本リーダー(43)と橋本電子工業(株)代表取締役社長と高木理事長(76)、熱田社長(58)が協定書を取り交わした。MMMは同社と若崎工業(株)(三重アサヒ同市広陽町)、(株)オクムラ(本社同市曲町)、(株)サ



協定書を手に並ぶ(前列右から)橋本リーダー、高木理事長、熱田社長ら＝鈴鹿市で

カキ&Eワイズ(本社学工業(株)本社同市大川町)、三重化(口町)、三重金属工業(株)

(本社津市、松阪市内に3工場)の6社で、2022(令和4)年9月に結成。いずれも本業以外に医療機器分野にも進出しており、合同で製品展示会を開いたり、海外市場へ視察に行ったり、新商品開発を視野に人的交流・技術交流・情報共有を行うなどしている。MMMと同大学は、22年12月に三十三地域創生が間を取り持つて交流を開始し、23(同5)年3月には白子キャンパスで展示会を開催。多くの教員らが会場を訪れ、共同研究やインターンシップの話が持ち上がった。「双方の持つ課題を、スピード感を持って解決するために産学連携に関する包括協定を締結し、前進させることになった」という。

主な協定事項は①研究・開発により地域医療課題の解決に貢献②連携

により教育現場との対話による教育の実現③就職・インターンシップなどリクルート活動などの支援④新商品に対する販路開拓支援⑤学生に対する広報活動の強化。調印式では橋本リーダー

と高木理事長、熱田社長、同大学の豊田長康学長、県雇用経済部新産業振興課の江藤浩太課長、松阪市産業文化部企業誘致連携課の三谷良樹課長もあいさつ。MMMメンバー各社の担当者も

列席した。橋本リーダーは本紙の取材に「大学でのMMMのメンバーによる講義や学生との触れ合いを期待されていると思うし、インターンシップの受け入れや、学生の医療機器メ

ーカーへの就職支援などで連携していきたい。将来的には新商品開発や共同研究も行い、われわれの医療機器を臨床現場で使ってもらえれば」と語った。